

今年度初！
JAの出前授業

小学生が地域の農業を学び 食の大切さを考えます

JAなすの（菊地秀俊組合長）は、2016年から職員が管内の小中学校に出向いて農業や食の大切さを伝える食農教育に力を入れています。総合的な学習の時間として地域の未来を担う子供達に地域農業への理解を深めてもらうことが目的です。

今回は、那須塩原市立東原小学校の6学年の児童が対象です（同小では今年2年目）。当JAは、コロナ禍で出前授業の活動を自粛していましたが、学校側からオファーをいただき、実現しました。扱う農産物は、花卉と県特産のイチゴです。今年は、イベントの減少などで花の需要が大きく落ち込んだため、個人消費に繋がればという思いで開催いたします。ぜひご取材ください。

題材について

1部…クリスマスアレンジメントに挑戦！

講師：フローリスト花束 薄井八重子氏

2部…栃木生まれの3種のイチゴ食べ比べ♪

とちおとめ … いちご王国栃木の代表品種

とちあいか … 本格出荷が始まった新品种

スカイベリー … 酸味が少なく大粒な品種

講師：JAなすの南部園芸センター職員



▲昨年の様子（東原小）

実施概要

日時：12月23日（水）9：30～11：30

場所：市立東原小学校 体育館（住所：那須塩原市東原4 電話：0287-60-1292）

参加者：6学年44人、教諭3人、JA職員7人～8人

内容：9：30～11：00 フラワーアレンジメント

11：00～11：30 イチゴのお話 とちおとめ・とちあいか・スカイベリーの食べ比べ

JAなすのは、大田原市・那須町・那須塩原市を管内とする農業協同組合です。“農業や地域にとってなくてはならない存在”だと、組合員をはじめ地域の皆さまに感じていただけるよう、創造的自己改革に取り組んでいます。

この件に関するお問い合わせ先

JAなすの 総合企画部 総務課 広報担当：阿久津・増子
直通電話：0287-62-5555 email：yuu-ogawa@janasuno.or.jp